
探究科学学園

霊琉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

探究科学学園

【Nコード】

N0787BA

【作者名】

霊琉

【あらすじ】

探究とは物事の真の姿を明らかにし、見極めること。

探究科学学園は生徒ひとりひとりの個性、適性に合った分野を探しだし、その分野のエキスパートを育てることを目標としている。

これから始まるのは高等部に入学して来た個性豊かな学生達が織り成す物語だ。

簡略した説明（前書き）

靈琿です。これからよろしくお願いします。

簡略した説明

探究科学学園は様々な分野においてエキスパートになる人材を育てることを目標にしている。探究科学学園は中高一貫校であるが中等部と高等部は基本的に部活以外で校内で会うことはない。

中等部から入った者はエリート意識を持っていて高等部から入った者と問題を起こしたことがある。何か問題を起こしたりした場合は中等部から入った者は高等部から入った者よりも軽い罰ですむ。

探究科学学園高等部は中等部から入った者を選良探求生、高等部から入った者を探求生と分けて呼ばれる。ちなみに制服も違う。

探究科学学園の生徒会は中等部から6人、高等部から7人の計13人で、高等部は選良探求生からしか選ばれることはない。だが、かなり優秀な探求生がいて生徒会長になったことが1度だけある。

e p 1 : 入学

探究科学学園入学式。中等部の新入生、高等部の新入生と教師、生徒会の13人と来賓で行われる。

中等部から高等部に上がる者達は入学式には参加しない。他の生徒は寮で自習することになっている。

この学園は全寮制。選良探究生、探究生、さらに男女に分かれて寮が決まっている。

学園長の話が終わったあと、新入生はそれぞれの教室棟へ向かう。

高等部新入生の篠崎 栄治は、1年2組だ。席は自由に座って良いとのこと。栄治は1番後ろの窓側に座った。

「うわぁ、先に取られたか……。俺、入江 孝太郎、よろしく」

栄治の1つ前の席に孝太郎は座る。ちなみに席替えは月に1回あれば良い方らしい。

「俺は篠崎 栄治だ。よろしくな」

栄治の隣には女子、斜め前には男子が座った。女子はチラチラと栄治を見ている。

本人はわからないが栄治は所謂イケメンだ。ちなみに、この学園には何故か美男美女が多い。その中でも栄治はずば抜けている。

「あ、あの！」

「ん、何？」

「わ、私は荒島 真優です！ よ、よろしく」

「ああ、よろしく」

「えっと……篠崎君って呼ぶね」

「ん、まあ好きに呼んでくれ」

「うん」

真優の顔は若干赤くなっている。風邪かな？ と思いつながら栄治は声を掛けようとするが、担任が入ってきたため思いとどまった。

「よし、お前らの担任になった山中 次郎だ。一年間よろしく」

簡単に自己紹介をしていくことになり、出席番号順に前に出て行く。この学園には全国から生徒が来るため知っている人が誰も居ないことも少なくない。

高等部の入試は学園独自の試験でかなりの難易度だ。ただ、学力だけではなく中学で部活の成績が良かったり、何か人と比べ秀でていることがあれば入ることが出来る。ちなみに中等部の入試はさらに難易度が高い。

「次は篠崎だ」

「はい」

栄治の順番になり、栄治が立ち上がり前へ向かう。栄治が立ち上がると、周り……特に女子がザワザワと騒ぐ。

中学の時もこんな感じだった栄治は気にすることなく教壇に向かう。騒いでいる女子のほとんどが若干頬を赤くしている。

「篠崎 栄治です。趣味は読書だ。中学の時は部活は入っていませんでしたが、全員が部活に入らなければいけないそうですので、何か文化部に入りたいと考えています。よろしくお願いします」

栄治は、にこつと微笑み会釈をした。女子は栄治の笑顔に見とれる。栄治が席に戻る時も女子は視線で追いつける。

「次は新城だ」

「……へい」

次の生徒が自己紹介をしている間も視線を浴び続けていた栄治は……。

（俺、なんか変なこと言ったかな？）

と、見当違いのことを考えていた。

自己紹介のあと、学園生活での注意事項を簡単に担任が話す。

注意事項 1 …… 学園敷地内に出る場合は学園長に許可証を発行してもらふこと。 注意事項 2 …… 男子が女子の寮、もしくは女子が男子の寮に入らないこと。

注意事項 3 …… 食堂は基本的に年中無休。 中等部と高等部の食堂は別なので気をつけること。

注意事項 4 …… 選良探研究生と探研究生は寮以外は共有だが、基本的に選良探研究生が優先。

注意事項 5 …… 学園敷地内では金銭の扱いはなく、食堂や自動販売機、購買部などの利用は生徒証明カードにより行う。

生徒証明カードには探究ポイント通称TPというものが溜まり、TPが金銭の代わりとなる。

TPは毎日100ポイントずつ配布され、校内ボランティアや試験の成績などでボーナスポイントがもらえ、罰などでポイントが減

ることがある。ちなみに食堂では1食30ポイント（ご飯、味噌汁、おかず）で、ポイントを上乗せすることで豪華になっていく。

「じゃ、生徒証明カードを配るぞ」

生徒達は配られたカードをマジマジと見ている。高等部に居る3年間、毎日使用することになるカード。

カードにポイントが追加される時は専用の装置にカードを差し込む。毎日配布されるポイントは基本的に毎日使う食堂で追加される。カードを紛失した際は新たに発行されるがポイントは0になる。

「カードの貸し借りは禁止だが、ポイントの譲与は生徒会室で可能だからな。ちなみに生徒会室は選良棟にある」

高等部の校舎と中等部の校舎は離れている。高等部の校舎は選良棟と普通棟、特別棟があり選良棟は選良探究生が使う教室がある棟。普通棟は探究生が使う教室がある棟だ。

特別棟は高等部教師の職員室や学園長室、基本教科以外の授業がある教室がある。ちなみに運動場と体育館は中等部と高等部は共有している。中等部には普通棟と特別棟がある。

「あと、派閥があるから注意しろよ」

派閥は特に優秀な選良探究生が中心になって似たような趣味や特技、目標を持った生徒が集まった組織のようなものだ。

生徒会メンバーのほとんどが自分の派閥を持っている。

生徒会選挙によりメンバーが決められるので、より大きい派閥に入っている者が有利になる。

また、体育祭や文化祭（中等部共同）では派閥による八百長のよ

うなことが行われることがある。

政治家や大企業社長、芸能人などの子供や孫も学園に通っていて、派閥の中には教師が手を出せないようなものもある。

「先生！ 過去、探研究生から生徒会長が出たと聞きましたが」

「……聞いた話だが、その生徒はとにかく凄かったらしい」

「何が凄かったんですか？」

「探研究生では珍しく派閥、それも学園最大の派閥を持っていたらしい」

「何故、そんなに大きな派閥を？」

「どうやら、選良探研究生にも信頼されて、実力も認められたらしい」

「……凄かったんですね」

選良探研究生と探研究生の実力の差は歴然としている。年々探研究生の質は落ち、逆に選良探研究生の質は上がっている。

「……じゃ、これで終わりだな」

入学式の日は午前中で授業が終わる。帰りのホームルームが終わり、生徒は食堂もしくは購買部に昼食を買いに行った。

「篠崎君、食堂に行こう」

真優は栄治を昼食に誘う。それを見た他の女子は、しまった！

というような顔をしていた。真優と同じように栄治を昼食に誘おうとしていた女子が多数いたようだ。

「ああ、良いよ」

「俺も良いか？」

「え？ う、うん。えっと……入江君だっけ？」

「ああ。よろしく」

3人は食堂に向かう。高等部食堂は高等部寮の近くにある。ちなみに購買部は校舎の昇降口の近くにある。

「カードには100ポイント入っているようだ。たぶん、このポイントが今日のポイントだろう……明日からはこの食堂で貰うみたいだ」

「そっか。まあ、節約しないとな」

「そうだね」

3人は昼食を受け取り、食べる場所を探す。ちょうど空いているテーブルがあったのでそこで食べることにした。

「ねえ、制服で選良探研究生か探研究生かを見分けるんだよね」

「そうだ」

「あまりキョロキョロするなよ。選良探研究生からすれば俺達は邪魔者だからな」

「……だよね」

3人はそそくさと食べ、食堂を去っていく。その様子をジッと見ている生徒が居た。

「……ねえ、あの子なかなか良い男じゃない。私の派閥に加えたいわ」

「清華様、探究の者を派閥に加えるのは……」

「私の意見に口答え？」

「も、申し訳ありません」

「まずは、情報集めね」

清水 清華。高等部2年選良探究生で生徒会副会長。高等部2年
の中では最大の派閥を持つ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0787ba/>

探究科学学園

2012年1月2日01時45分発行